

## 日本鉱物科学会 平成 24 年度第 1 回 定例評議員会議事録

日時：平成24年9月20日（木）12:15-14:00

会場：京都大学理学研究科1号館 5階 563地惑専攻共通大会議室

出席者

会長：村上 隆

副会長：小山内康人

評議員：赤坂正秀，榎並正樹，片山郁夫，土山 明，本間 寿，  
奥山康子，大藤弘明，角替敏昭，鍵 裕之，伴 雅雄，  
平島崇男，宮島 宏，阿部なつ江，井上 徹，黒澤正紀，  
小暮敏博，留岡和重，永井隆哉，長瀬敏郎，  
中村美千彦

委任状：木村純一，佐藤 努，廣井美邦，宮嶋 敏，森下知晃  
欠 席：石渡 明，塚本尚義，小澤一仁，高澤栄一，土谷信高

書記は、永井隆哉評議員が務めた。

### I. 承認事項

1. 村上新会長から下記の平成24年度幹事・委員長・外部団体への代表委員が紹介され承認した。

#### ■幹事会メンバー

会長：村上 隆

副会長：小山内康人

庶務幹事：永井隆哉

会員幹事：佐藤 努

会計幹事：中村美千彦

行事幹事：黒澤正紀

和文誌編集幹事：赤坂正秀

英文誌編集幹事：平島崇男

渉外幹事：井上 徹

広報幹事：伴 雅雄

Elements: 鍵 裕之

特務幹事（会則・内規検討担当）：小暮敏博

特務幹事（会員減少対策担当）：片山郁夫

特務幹事（対外雑誌担当）：大谷栄治

特務幹事（法人化対策担当）：土山 明

会計監査委員：後藤章夫，加々島慎一

三鉱連絡委員：永井隆哉，大和田正明

選挙管理委員会：鈴木庸平，外田智千

地球惑星科学連合2013年度学会選出プログラム委員：

角替敏昭（正）・三宅 亮（副）

地惑連合連絡担当：大谷栄治，石渡 明，黒澤正紀，

橘 省吾（連合登録連絡委員）

#### ■日本鉱物科学会会員の「一般社団法人 地球惑星科学連合」

役員，理事，社員，各委員名：

理事：ウォリス サイモン

代議員：

宇宙惑星科学選出：永原裕子，塚本尚義

固体地球科学選出：石渡 明，入舩徹男，ウォリス サイモン，  
大谷栄治，鍵 裕之，藤井敏嗣，宮下純夫

地球生命科学選出：掛川 武

地球惑星科学総合選出：宮嶋 敏

総務委員会：吉田武義，近藤 忠，掛川 武

財務委員会：公開準備中

広報・普及委員会：橘 省吾

環境・災害対応委員会：榊原正幸

男女共同参画委員会：富樫茂子，吉田武義，藤縄明彦，土屋範芳  
キャリア支援委員会：公開準備中

（前期：橘 省吾，富樫茂子，永原裕子，渡辺公一郎）

教育問題検討委員会：宮嶋 敏，高橋栄一，奥山康子，  
藤本光一郎，宮下 敦

情報システム委員会：高木哲一，三河内岳，鍵 裕之，柳澤教雄

学術出版委員会：村上 隆，大谷栄治

大会運営委員会：公開準備中（前期：高木哲一，黒澤正紀）

国際学術委員会：石渡 明，大谷栄治，ウォリス サイモン

#### ■評議員会メンバー

会長：村上 隆

副会長：小山内康人

評議員

任期3年(新)：

赤坂正秀，石渡 明，榎並正樹，片山郁夫，木村純一，  
土山 明，廣井美邦，本間 寿，宮嶋 敏，塚本尚義

任期残2年：

奥山康子，小澤一仁，大藤弘明，角替敏昭，鍵 裕之，  
佐藤 努，伴 雅雄，平島崇男，宮島 宏，森下知晃

任期残1年：

阿部なつ江，井上 徹，黒澤正紀，小暮敏博，高澤栄一，  
土谷信高，留岡和重，永井隆哉，長瀬敏郎，中村美千彦

#### 2. 各種委員会委員の承認

##### (1) 行事委員会

委員長：黒澤正紀

副委員長：角替敏昭（2013年LOC委員），磯部博志

委員：鍵 裕之，河上哲生，田村芳彦，橘 省吾，寺崎英紀，  
片山郁夫，福士圭介

##### (2) 岩石鉱物科学編集委員会

委員長：赤坂正秀幹事

副委員長：中村美千彦

委員：

荒川洋二，石田秀輝，石渡 明，上原誠一郎，大谷栄治，  
加藤 工，掛川 武，木村純一，木村 眞，興野 純，  
小暮敏博，近藤 忠，柴 正敏，下林典正，田中久雄，  
高澤栄一，高須 晃，土谷信高，豊田和弘，中井 泉，  
中牟田義博，長瀬敏郎，永島真理子，西戸裕嗣，長谷中利昭，  
林謙一郎，林信太郎，伴 雅雄，坂野靖行，平島崇男，  
藤縄明彦，前田仁一郎，牧野州明，三浦裕行，宮島 宏，  
村田 守，門馬綱一，塚本尚義，吉朝 朗

##### (3) JMPS編集委員会

委員長：平島崇男

副委員長：吉朝 朗， M. Satis-Kumar

委員：

榎並正樹，藤本光一郎，林謙一郎，井上 徹，石渡 明，  
加藤文典，河野元治，木村純一，小木曾哲，興野 純，  
松枝大治，三河内岳，中村美千彦，小畑正明，大谷栄治，  
奥寺浩樹，大和田正明，佐藤 努，佐脇貴幸，篠田圭司，  
下林典正，杉山和正，田村芳彦，角替敏昭，宇都宮聡  
Jung Ho Ahn, Richard J. Arculus, D. Chandrasekharam, Ming Chen,  
Moonsup Cho, Alexander Khanchuk, Anhuai Lu, Joseph R. Smyth

- (4) 渉外委員会  
 委員長：井上 徹(高圧関係)  
 委員：安東淳一(地質関係), 阿部なつ江(岩石・地球化学関係),  
 長瀬敏郎(鉱物), 木村 眞(惑星・隕石関係),  
 赤荻正樹(相談役)
- (5) 広報委員会  
 委員長：伴 雅雄  
 委員：奥村 聡, 亀井淳志, 鈴木昭夫, 橋 省吾,  
 永井隆哉(庶務幹事)
- (6) Elements 委員会  
 委員長：鍵 裕之  
 副委員長：井上 徹(渉外)  
 委員：宮脇律郎, 宇都宮 聡, 片山郁夫, 橋 省吾, 興野 純,  
 寺崎英紀(サイエンスボード)  
 Society News Editor：鍵 裕之  
 Executive Committee Member：村上 隆  
 永井隆哉(庶務), 黒澤正紀(行事), 伴 雅雄(広報),  
 赤坂正秀(GKK), 平島崇男(JMPS)
- (7) 将来企画委員会  
 委員長：小山内 康人  
 副委員長：土山 明  
 委員：鍵 裕之, 河上哲生, 橋 省吾, 平賀岳彦, 宮脇律郎,  
 坂本尚義, 大谷栄治, 宇都宮聡  
 オブザーバー：村上会長
- (8) 会則・内規検討委員会：  
 委員長：小暮敏博  
 委員：土山 明, 中村美千彦, 榎並正樹, 永井隆哉(庶務幹事)
- (9) 新鉱物・命名・分類委員会  
 委員長：宮脇律郎  
 委員：上原誠一郎, 小林祥一, 清水正明, 坂野靖行, 松原 聡,  
 浜根大輔, 門馬 綱一
- (10) 普及教育委員会  
 委員長：奥山康子  
 委員：宮嶋 敏, 赤井純治, 黒澤正紀, 川手新一
- (11) 博物館委員会  
 委員長：坂野靖行  
 委員：宮脇律郎, 宮島 宏, 長瀬敏郎, 森 康
- (12) 選挙管理委員会  
 鈴木庸平, 外田智千
- (13) 日本鉱物科学会賞選考委員会  
 委員会は11名で構成され, 1名は会長とし, 10名は任期  
 3年目の評議員が担当する。
- 委員長：小暮敏博  
 副委員長：阿部なつ江  
 委員：井上 徹, 黒澤正紀, 高澤栄一, 土谷信高, 留岡和重,  
 永井隆哉, 長瀬敏郎, 中村美千彦, 村上 隆(会長)
- (14) 渡邊萬次郎賞選考委員会  
 委員の構成は8名で毎年その半数が交代し, 再任は妨げない。  
 委員長：小澤一仁(2期目任期残1年)  
 副委員長：石渡 明(1期目任期2年)  
 委員：奥山康子, 小山内康人, 平島崇男(2期目任期残1年)  
 赤坂正秀, 土山 明, 坂本尚義(1期目任期2年)
- (15) 日本鉱物科学会論文賞選考委員会  
 委員会は10名の委員で構成され毎年半数が交代, 再任は可。  
 委員長：長瀬敏郎(2期目任期残1年)  
 副委員長：片山郁夫(1期目任期2年)  
 委員：伴 雅雄, 森下知晃, 大藤弘明, 佐藤 努  
 (2期目任期残1年)  
 榎並正樹, 鍵 裕之, 木村純一, 小暮敏博  
 (1期目任期2年)
- (16) 日本鉱物科学会研究奨励賞  
 委員は10名で構成され, 毎年その半数が交代する。  
 委員長：森下知晃(2期目任期残1年)  
 副委員長：角替利昭(1期目任期2年)  
 委員：鍵 裕之, 大藤弘明, 佐藤 努, 黒澤正紀  
 (2期目任期残1年)  
 片山郁夫, 木村純一, 廣井美邦, 坂本尚義(1期目任期2年)
- (17) 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会  
 委員は10名で構成され, 毎年その半数が交代する。  
 委員長：宮島 宏(2期目任期残1年)  
 副委員長：赤坂正秀(1期目任期2年)  
 委員：黒澤正紀, 大藤弘明, 鍵 裕之, 柳澤教雄  
 (2期目任期残1年)  
 杉山和正, 土山 明, 本間 寿, 宮嶋 敏  
 (1期目任期2年)
- (18) 櫻井賞選考委員会  
 委員長：松原 聡  
 委員：中井 泉, 清水正明, 宮脇律郎, 坂野靖行, 宮島 宏
- (19) 2013年年会運営委員会(暫定メンバー)  
 委員長：林 謙一郎  
 委員：  
 筑波大：安間, 荒川, 池端, 興野, 黒澤, 小室, 角替  
 産総研：月村, 柳澤, 奥山, 坂野, 御子柴, 星野, 鈴木  
 科 博：宮脇, 門馬, 堤, 横山  
 物材研：山田, 橋爪  
 黒澤正紀行事委員長, 角替敏昭副行事委員長,  
 磯部博志副行事委員長

(20) IMA日本代表委員

IMA Representative: Eiji Ohtani

Commission on Applied Mineralogy (CAM): 代表委員 :

Kazumasa Sugiyama

Commission on New Minerals Nomenclature and Classification

(CNMNC): 代表委員 : Ritsuro Miyawaki

Commission on Mineral Growth and Interface Processes (CMGIP):

Katsuo Tsukamoto(Chairman兼任)

Commission on Museums (CM): 代表委員 : Yasuyuki Banno

Commission on Ore Mineralogy (COM): Masaaki Shimizu

Commission on Physics of Materials (CPM): 代表委員 :

Eiji Ohtani (Chairman) , Tetsuo Irifune, Toru Inoue, Taku Tsuchiya

Commission on Gem Materials (CGM): 代表委員 : Takeshi Miyata

Working Group on Environmental Mineralogy and Geochemistry

(WGEMG): Chairman: Tsutomu Sato

Working Group on Inclusions in Minerals (WGIM): 代表委員 :

Mamoru Enjoji(資源地質学会会員), Hiroyuki Kagi

Working Group on Mineral Equilibria (WGME): 代表委員 :

Masaki Akaogi

Working Group on Solid Earth and Evolution (WGSEE) :

代表委員 Eizo Nakamura (非会員)

(21) IMA分科会委員

大谷栄治 (委員長) 学術会議連携会員, IMA-CPM委員長

永原裕子 学術会議会員

荒井章司 学術会議連携会員

高橋栄一 学術会議連携会員

富樫茂子 学術会議連携会員

西山忠男 学術会議連携会員

坂本尚義 (副委員長) 学術会議連携会員

山中高光 学術会議特任連携会員, IMA前会長,

カウンスルメンバー)

佐藤 努 (幹事) 学術会議特任連携会員, IMA-WGEMG委員長

赤荻正樹 オブザーバー, IMA-WGME日本代表委員

杉山和正 オブザーバー, IMA-CAM日本代表委員

宮脇律郎 オブザーバー, IMA-CNMNC日本代表委員

塚本勝男 オブザーバー, IMA-CMGIP委員長

坂野靖行 オブザーバー, IMA-CM日本代表委員

清水正明 オブザーバー, IMA-COM日本代表委員

入船徹男 オブザーバー, IMA-CPM日本代表委員

井上 徹 オブザーバー, IMA-CPM日本代表委員

土屋 卓 オブザーバー, IMA-CPM日本代表委員

宮田雄史 オブザーバー, IMA-CGM日本代表委員

鍵 裕之 オブザーバー, IMA-WGIM日本代表委員

赤井純治 オブザーバー

榎並正樹 オブザーバー

松原 聡 オブザーバー

藤野清志 オブザーバー

土山 明 オブザーバー

村上 隆 オブザーバー

II. 報告事項

1. 2013年年会の件 (筑波大学開催)

2013年大会の日程について、地球化学会と同日開催で調整し、下記の方向で検討していることが報告された。会場は筑波大学第一エリアの建物。日程については、巡検が企画されるとすると、地質学会初日と重なるために現在(9月20日)、日程を1日早めるかどうかを検討中。

2013年年会講演会予定: 2013年9月11日(水)~13日(金)

9月10日(火) 両学会合同ショートセミナー, 鉱物各種委員会会合

9月11日(水) 初日

9月12日(木) 2日目, 合同懇親会

9月13日(金) 3日目

9月14日(土) (鉱物科学会巡検), 地球化学会市民セミナー, 地質学会初日 (9/14~16)

III. 審議事項

1. 2014年年会の件

2014年大会の開催地として、熊本大学を決定した。他学会との共催について将来企画委員会と連携して検討することとなった。また、近い日程で地質学会が鹿児島大で行われる予定であるので日程の調整が必要であるとの指摘があった。

2. その他

ポスター、口頭発表を著者に無断で写真撮影、録音されているケースが見られるとの指摘があり、対応について議論された。本年度については、会場入り口周辺に注意事項として掲示することで対処した。来年度以降は、前述の行為を禁止することを会告や要旨集でも注意を徹底するなど、行事委員会とLOCで鋭意対応することとした。